

教員研究業績一覧（2019年4月1日～2020年3月31日）及び前年度補遺

山崎 健司（日本古代文学）

【論文】

1. 「萬葉集の本文解釈学的研究－遺新羅使人歌群をめぐって－」、『明治大学人文科学研究紀要』第86冊，明治大学人文科学研究所，縦組1～23頁，2020年3月
2. エッセイ：「萬葉歌における「映像」の発見」、『芸芸研究』141号，明治大学芸芸研究会，pp.25-33，2020年3月

【書評】

1. 松田聡著『家持歌日記の研究』、『萬葉』229号，萬葉学会，64-71頁，2020年3月

【研究発表】

1. 「萬葉集巻第二十終末部の作品と編纂」，交響する古代X，明治大学グローバルホール，2020年1月13日

【学外講演】

1. 「『万葉集』全講」，2019年4月9日，23日，5月14日，28日，6月11日，25日，7月9日，23日，8月27日，9月10日，24日，朝日カルチャーセンター(新宿校)
2. 「シリーズ女王：額田王」，2019年8月8日，22日，朝日カルチャーセンター（新宿校）
3. 「県民大学講座：やまとうたの表現に親しむ」，2019年8月10日，17日，24日，31日，9月7日，茨城県県西生涯学習センター（筑西市）
4. 「『万葉集』における中央と地方：大伴旅人の場合」，2019年10月8日，11月5日，12月10日，朝日カルチャーセンター（新宿校）
5. 「『万葉集』における中央と地方：高橋虫麻呂の場合」，2020年2月25日，朝日カルチャーセンター（新宿校）

【学内外における社会的活動等】

1. 萬葉学会 編輯委員
2. 萬葉学会 奨励賞選考委員
3. 上代文学会 常任理事
4. 筑波大学日本語日本文学会 評議員
5. 和漢比較文学会 会計監査（2019年10月まで）

牧野 淳司（日本文学）

【研究発表】

1. 「道宣と玄奘」明治大学・南カリフォルニア大学研究交流行事，南カリフォルニア大学，2019年11月1日～2日
2. 「仏教を流伝することと戒律を守ること」明治大学・高麗大学校研究交流行事，高麗大学校，2019年9月6日

石川 日出志（考古学）

【著書】

1. 編著『季刊考古学・別冊29 泉坂下遺跡と再葬墓研究の最前線』，総146ページ（石川「総論」pp.11-20），雄山閣，2019年7月25日
2. 共著（鈴木一郎・桑野友也・安井翠・石川日出志・遠藤英子・小倉淳一・柿沼幹夫・鈴木敏弘・江口やよい・坂口由加里・前田秀則）『埼玉県和光市 午王山遺跡総括報告書』，総ページ270ページ（本文246ページ・図版24ページ／石川「午王山遺跡と弥生時代の動向」pp.219-226），和光市教育委員会，2019年6月28日

【論文】

1. 「特別寄稿 「弥生式土器」命名の契機となった土器について」『岩宿遺跡と日本の近代考古学』岩宿遺跡発掘70周年記念特別展2，岩宿博物館，p.37，2019年10月5日

2. 「宇津ノ台式系土器」『新潟県の考古学III』新潟県考古学会設立30周年記念誌, pp.286-287, 新潟県考古学会, 2019年12月27日

【学会発表・研究発表】

1. 「漢魏晋代駝鈕印の再加工」<中国古印研究国際シンポジウム in 岩手>, (於:岩手大学教育学部北桐ホール), 2019年4月21日(当日資料8ページ)
2. 「中国壘印考古学の提唱」中国社会科学院国際合作局・明治大学・中国社会科学院考古研究所<中日学術論壇“公元前3世紀至10世紀東亜地区的考古学与歴史学研究”>, 於:中国社会科学院考古研究所, 2019年8月29日
3. 「中国古代壘印と東夷」<南京大学・明治大学学術交流会>, 於:南京大学仙林校区歴史学院, 2019年11月4日
4. 「千曲川流域からA.D.2世紀の日韓交流を考える」<第10回明治大学・高麗大学校国際学術交流会, 於:明治大学L-1114教室, 2019年11月16日
5. 「日本における「考古学」のはじまり」<国際学術研究会:交響する古代X>, 明治大学国際日本学研究クラスター主催, 於:明治大学グローバルホール, 2020年1月13日

【学内外における社会的活動等】

1. 考古学研究会常任委員
2. 文化庁埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会委員
3. 東京都板橋区文化財保護審議会委員(副会長)
4. 東京都北区文化財保護審議会委員(副会長)
5. 北区中里貝塚保存活用計画策定委員会委員(副委員長)
6. 福島県白河市天王山遺跡調査指導委員会委員(委員長)
7. 茨城県常陸大宮市泉坂下遺跡保存委員会委員
8. 茨城県大洗町史跡調査検討委員会委員
9. 市川市史編纂委員会(歴史部会)委員
10. 調布市史跡下布田遺跡保存活用計画策定委員会(副委員長)
11. 新潟市史跡古津八幡山遺跡保存活用計画策定委員会委員
12. 新潟県見附市史跡耳取遺跡整備基本計画策定委員会委員(委員長)

佐々木 憲一(考古学)

【著書】

1. (田中裕と共編著)『続常陸の古墳群 附:折越十日塚古墳・坂稻荷山古墳発掘調査報告』(明治大学文学部考古学研究室・六一書房, 2020年2月)

【論文】

1. 「北アメリカのマウンド」(福永伸哉[編]『日本古墳研究リソースを活かした墳丘墓築造と社会関係の国際研究展開』pp.127-154, 大阪大学大学院文学研究科[科研報告書], 2019年3月)
2. 「古墳時代信濃の首長」(『和の考古学—藤田和尊さん追悼論文集—』pp.91-102, ナベの会, 2019年7月)
3. 「古墳時代の文字」(小林謙一[編]『考古学と歴史学』pp.171-191, 中央大学出版部, 2020年2月)
4. 「古墳時代考古学の国際化」(『明治大学人文科学研究所紀要』第85冊, pp.197-228, 明治大学人文科学研究所, 2020年3月)

【学会発表・研究発表】

1. 「常陸における前方後円墳築造の終焉」(佐々木筆頭・田中裕・日高慎と共同;日本考古学協会第85回総会, 駒澤大学, 2019年5月19日)

【学内外における社会的活動等】

1. 奈良市財団法人寧楽美術館評議員(2004年~)
2. 長野市史跡大室古墳群整備専門家会議メンバー(2007年~)

3. 茨城県ひたちなか市文化財保護審議委員 (2007 年～)

湯浅 幸代 (日本文学)

【論文】

1. 『源氏物語』の「心の鬼」―「鬼」の表現をめぐる― (『古代学研究所紀要』27号, 明治大学日本古代学研究所, pp.9-14, 2019年2月)
2. 「物語は離婚と財産分与をどう書いたか」(松田浩ほか編『古典文学の常識を疑うII』, 勉誠出版, pp.72-75, 2019年9月)
3. 『源氏物語』夕顔巻の「滝口」―帝の皇子・光源氏の危機― (『古代学研究所紀要』29号, 明治大学古代学研究所, pp.15-21, 2020年3月)

【書評】

1. 「長瀬由美著『源氏物語と平安朝漢文学』」(『日本文学』68-12, 日本文学協会, pp.52-53, 2019年12月)

【資料】

1. 湯浅幸代・関恭平・上村菜由「『明治大学日本古代学研究所』所蔵土肥経平『花鳥芳囀』校異表―池田家文庫本との比較」(『古代学研究所紀要』第28号, pp.1-16, 2019年3月)

【学内外における社会的活動等】

1. 日本文学協会委員
 2. 中古文学会委員
 3. 明治大学リバティアカデミーコーディネイタ
 4. REC (龍谷大学) コミュニティーカレッジ (東京講座) 講師
-

中村 友一 (日本古代史)

【著書】

1. (共著)『日本古代の氏族と系譜』篠川賢編(中村「連公」と系譜史料)雄山閣, 2019年, pp.125-140, 総頁363頁

【論文】

1. (単著)「古代人の「名」観念―『万葉集』の「あざな」を中心に―」『日本古代学』11号, 2019年, pp.11-21

【学会発表・研究発表】

1. 研究報告(単独)中国社会科学院・明治大学学術交流会「古代日・中の姓名表記とその意義／古代中日姓名表記和其它意义」, 於中国社会科学院(北京), 2019年8月。
2. 学会講演(単独)日本家系図学会総会「日本古代史学における系図史料の意義」, 於渋谷区, 2019年11月
3. コメント(単独)「変革と継承―改元の年に寄せて―」駿台史学会大会, 於明治大学(東京), 2019年12月

【学内外における社会的活動等】

1. 埼玉県杉戸町文化財保護審議委員
 2. 立川市史編纂委員(古代中世部会)
 3. 成城大学民俗学研究所研究事業「日本書紀の成立と伝来」研究協力者
 4. 研究費基盤研究(A)「日本墨書土器データベースの全国的達成」(研究代表者:吉村武彦)研究分担者
-

若狭 徹 (考古学)

【論文】

1. 「立評をめぐる地方氏族の政治行動―群馬県における後期古墳の動態と上野三碑の建碑から―」『駿台史学』165号, 駿台史学会, pp.75-105, 2019年4月

2. 「巨大前方後円墳と埴輪の世界」『東京シンポジウム 2019—文化遺産を考える』、堺市・独立行政法人国立文化財機構、pp.11-16, 2019年7月
3. 「関東・東北の古墳時代社会の動態と城柵の成立」『鞠智城シンポジウム—古代城柵と東北城柵』熊本県・熊本県教育委員会・龍谷大学文学部、pp.41-54, 2019年10月
4. 「東国における後期古墳の特質—前方後円墳の終焉と関係して」『別冊季刊考古学 30 賤機山古墳と東国首長』雄山閣、pp.94-101, 2019年10月
5. 「万葉集東歌の考古学的検討—佐野舟橋を題材に—」『古墳と国家形成期の諸問題—白石太一郎先生傘寿記念論文集』山川出版社、pp.251—256, 2019年10月
6. 「上毛野における古墳時代の馬生産」『馬の考古学』雄山閣、pp.165—177, 2019年11月
7. 「東国首長の地域経営と装飾付大刀の意義」『刀剣が語る古代国家誕生』古代歴史文化協議会、pp.9-16, 2019年12月

【書評】

1. (単著)「今尾文昭著「天皇陵古墳」を歩く」『季刊考古学』148号、雄山閣、pp.105, 2019年

【研究発表】

1. 「巨大前方後円墳と埴輪の世界」東京シンポジウム 2019—文化遺産を考える、2019年7月21日(日)、主催：堺市・独立行政法人国立文化財機構、場所：東京都台東区・東京国立博物館
2. 「東北・関東の古墳時代社会の動態と城柵の成立」『鞠智城シンポジウム』古代の山城と東北城柵、2019年10月6日(日)、主催：熊本県・熊本県教育委員会・龍谷大学文学部、場所：京都府京都市・龍谷大学響都ホール
3. 「古代日本における石碑文化とその特質」2019年11月4日(月)、2019年南京大学・明治大学学術交流会、中国江蘇省南京大学

【学外講演】

1. 「史跡の整備と市民参加」、2019年3月9日(土) 13:30~15:30、主催：加曾利貝塚友の会、千葉県千葉市、場所：千葉市生涯学習センター (100人)
2. 「東国の巨大前方後円墳はなぜ成立したか」2019年5月14日(火) 18:00~19:30、主催：明治大学博物館友の会、場所：東京都千代田区、明治大学博物館教室 (50人)
3. 「東国古墳文化の実像」2019年5月18日(土) 16:20~17:20、主催：関東甲信越ブロック医師国民健康保険組合連絡協議会、場所：群馬県高崎市、ホテルメトロポリタン高崎 (100人)
4. 「火山灰の下から甦る古墳時代の王の姿とその社会」2019年6月28日(金) 16:30~18:00、主催：朝日カルチャーセンター、場所：神奈川県横浜市、朝日カルチャーセンター横浜 (15人)
5. 「埴輪からみた王の儀礼」2019年6月29日、13:30~15:30、場所：愛知県名古屋市、主催：南山大学人類学博物館、(100人)
6. 「東国前方後円墳の最新研究」2019年7月5日(金) 16:30~18:00、主催：朝日カルチャーセンター、場所：神奈川県横浜市、朝日カルチャーセンター横浜 (15人)
7. 「古墳人現る、金井東裏遺跡の奇跡」、2019年7月13日(土) 13:15~14:45、主催：群馬県埋蔵文化財調査事業団、場所：群馬県前橋市、前橋テルサホール (300人)
8. 「巨大前方後円墳と埴輪の世界」2019年7月21日(日) 13:00—17:00、主催：堺市・独立行政法人国立文化財機構 (東京シンポジウム 2019—文化遺産を考える)、場所：東京都台東区、東京国立博物館平成館大講堂 (350人)
9. 「埴輪群像は何を語るのか」2019年8月24日(土)13:30~15:00、主催：宮崎県立西都原考古博物館、場所：宮崎県西都市、宮崎県立西都原考古博物館 (100人)
10. 「関東・東北の古墳時代社会の動態と城柵の成立」2019年10月6日(日) 10:30—17:30、主催：熊本県・熊本県教育委員会・龍谷大学文学部 (鞠智城シンポジウム—古代城柵と東北城柵)、場所：京都府京都市、龍谷大学響都ホール (300人)
11. 「古墳時代の王の実像」2019年10月18日(金) 16:00—17:30、主催：朝日カルチャーセンター、場所：東京都新

宿区, 朝日カルチャーセンター新宿 (20人)

12. 「前方後円墳とは何か」2019年11月17日(日)14:00~16:00, 主催:船橋市郷土資料館文化講演会, 場所:千葉県船橋市薬台公民館 (120人)
13. 「東国首長の地域経営と装飾付大刀の意義」2019年12月22日(日), 主催:古代歴史文化協議会(シンポジウム『刀剣が語る古代国家誕生』), 場所:明治大学アカデミーホール (1200人)

【新聞・マスコミ】

1. 週刊朝日, 巻末特集, 2019年6月21日増大号, 「ようこそ古墳の世界へ」の記事にコメント掲載
2. NHK総合, 「歴史秘話ヒストリア」巨大古墳誕生の秘密。世界遺産直前、百舌鳥・古市古墳群, 5月29日(水), コメント出演
3. 上毛新聞, 2019年7月14日に前橋テルサでの講演「古墳人現る」の紹介記事が掲載される。
4. 読売新聞, 夕刊, 文化面, 2019年7月23日(火)「史書を訪ねて(日本書紀)」に囲みでコメントを掲載
5. 読売新聞, 本よみうり堂, 2019年8月4日(日), 若狭著「古墳時代ガイドブック(新泉社)」の書評が掲載(松木武彦評)
6. 東京新聞, 2019年11月21日(木), 古代歴史文化協議会シンポジウム「刀剣が語る古代国家誕生」に若狭出演の告知を掲載。
7. 明治大学「Meiji.net」2019年9月18日版, 若狭徹「世界遺産に登録された日本の古墳には、世界に誇れる特異性がある」を掲載
8. 株式会社タイムラグのインターネット書架「リベル」の記事「人々が仰いだ古墳—認められるリーダーになるために」が若狭のコメントを中心に構成。2019年12月21日公開。
9. 「しんきんカード はれ予報」1・2月号(2020年1月1日, 株式会社しんきんカード、200万部発行)の特集記事「めくるめく、埴輪の世界へようこそ」pp.38-41, が若狭のコメントを中心に構成。

【学内外における社会的活動等】

1. 平成30年度人間文化研究機構国立歴史民俗博物館共同研究員(2019年4月1日~2020年3月31日), 国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)
 2. 史跡埼玉古墳群保存整備協議会委員(2017年8月6日~2019年3月31日), 埼玉県立さきたま史跡の博物館(埼玉県行田市)
 3. 国立歴史民俗博物館総合展示第1室リニューアル委員(2019年4月1日~2020年3月31日), 国立歴史民俗博物館
 4. 史跡中高瀬観音山遺跡保存整備活用委員会委員(2019年~)
 5. 特別史跡多胡碑保存検討委員会委員(2018年1月~), 群馬県高崎市教育委員会
 6. 毛野国白石丘陵公園史跡整備委員(2018年3月~), 群馬県藤岡市教育委員会
 7. 高崎市文化財調査委員会委員(2018年4月~)群馬県高崎市教育委員会
 8. 原山古墳群整備検討委員会委員(2018年6月1日~2019年3月31日), 福島県西白河郡泉崎村
 9. 群馬県文化財保護審議会専門委員(2018年8月~2020年7月)
 10. 日本考古学協会賞選考委員(2018~2019年度)
 11. 高崎学検定検討委員(2019年), 群馬県高崎市
 12. 史跡弘法山古墳調査委員会委員(2019年11月から3年間)長野県松本市
-